

# 琉球大学学術リポジトリ

## 台湾の農業事情 (中) ー林産・畜産の概況ー

|       |   |
|-------|---|
| メタデータ | 言語:<br>出版者: 琉球大学農家政学部<br>公開日: 2011-06-23<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 新垣, 真保, Arakaki, Shinpo<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/20664">http://hdl.handle.net/20.500.12000/20664</a>                           |

# 台湾の農業事情

## 林産・畜産の概況

(中)

### (2 台湾の農業のつづき)

#### ④ 農産物

##### (イ) 林産業の概況

農業を広い意味に解釈して先づ農林畜漁業全般についてその目覚ましい発展振りが第1表によって分る。農作物関係に就いては後に詳述するとして、林業について一言ふれて見ると表でも分る通り、その躍進は驚くばかりである。台湾では昔から檜、杉が有名であり、戦後も計画的に植林が実施され、旅行の途中に於いても檜や杉の整然とした美しい林地が見られた。又都市といわず田舎といわず道路の両側には緑したたる美しい並木が渠しなく続いており、並木の中には季節季節に美しい花や貴重な果実をつけるのも多く、盛夏の日中にも道行く人に涼しい木蔭を与えていた。植林したての幼樹には必ず保護の柵や支柱が立てられていた。市街地にはヤシ類の並木が

多く如何にも南国的で美しい。街路樹の花や果物を勝手にとる人はいない。高価な果樹類は収穫されて道路にゴミとして埋めに繰入れられるとのことだった。台湾の人が芝居の如くに樹木を愛護している心には頭が下った。尚彼方方に大きな製材所が見られ、建築やパルプ用材のさまざまな丸太材が多数堆積されているのをよく見受けた。

##### (ロ) 畜産

台湾の畜産で最も重要なのは沖縄と同じように矢張り豚である。豚の育種と種々な試験研究は西部平野の北部苗栗県の台糖公司種畜場で大々的に行われていた。豚の育種での成績は導入されたパークシャー及びヨークシャー種と台湾在来豚との交配種が最も良いとのことだった。早生で脂肪少く赤肉の多いのが目標とのこと。本場に於いては約3千頭飼育されていた。台糖公司是4万ha



林業の試験研究は直接に利用と結びつき地方の美化にも貢献する 左は士林園芸試験場前のヤシ並木 右はみどり豊かにすくすくとのびる台中県中興新村の街路樹

第1表 農業の年次別生産高指導

| 年度   | 類別        |       |       |       |       |
|------|-----------|-------|-------|-------|-------|
|      | 農<br>一般指数 | 農 業   | 林 業   | 漁 業   | 畜産業   |
| 1949 | 100.0     | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 1950 | 106.1     | 106.1 | 132.0 | 101.7 | 102.6 |
| 1955 | 139.8     | 122.7 | 194.2 | 216.3 | 177.1 |
| 1958 | 173.9     | 150.9 | 290.0 | 273.8 | 214.0 |
| 1960 | 177.8     | 152.4 | 320.6 | 307.4 | 200.8 |
| 1961 | 192.0     | 162.2 | 348.1 | 358.2 | 203.6 |

註、1961年度分は見積り概算

出所：台湾統計資料書 1962

第2表 主要農産物の評価額指数(%)

(1957年台湾農復会)

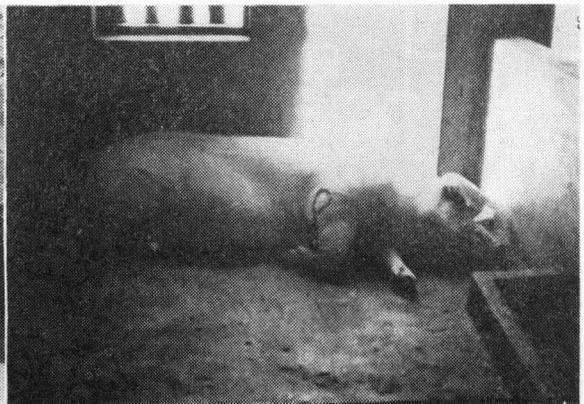
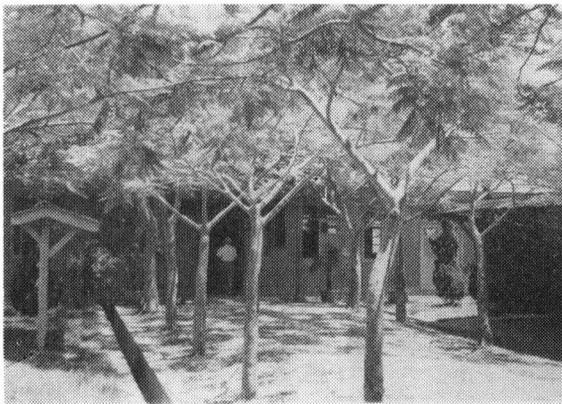
| 全農産物評価額 |      | 100.0  |      |
|---------|------|--------|------|
| 作 物     | 80.3 | 柑 橘    | 0.8  |
| 米       | 44.0 | 小 麦    | 0.8  |
| 甘 藷     | 8.4  | シトロネラ油 | 0.6  |
| 甘 蔗     | 8.3  | キヤッサバ  | 0.5  |
| 蔬 菜 類   | 3.8  | 黄 麻    | 0.3  |
| 落 花 生   | 3.4  | 其他作物類  | 3.0  |
| タ バ コ   | 1.9  | 家 畜    | 19.7 |
| 茶       | 1.5  | 豚      | 16.6 |
| 大 豆     | 1.3  | 家 鳥 類  | 2.5  |
| パ ナ ナ   | 0.9  | 牛      | 0.3  |
| パイナップル  | 0.8  | 他 家 畜  | 0.3  |

(町)の畑地(沖縄の耕地面積と略々同じ)を持っているが、輪作するので2万haの畑は堆肥を必要とする。そのためには1ha当4頭の豚が必要だと云っていた。水稲に次いで栽培面積の大きいのは甘藷であるが、その甘藷を主飼料にして飼育しているのは沖縄と変わらない。台湾の豚は戦前最高頭数約187万頭、戦後の最高は1958年の約360万頭であり、現在も320万頭位飼育されている。そして毎年240万頭位生れ、220万頭程屠殺されている。台湾に於ける豚は農産物評価額で第2位を占めて米に次ぎ、1959年に於ては輸出農産物中でも第6位を占めていた。台湾では年間一人当たり18キログラムの豚肉(生体重割計算)を消費する上余分は日本、香港等にも輸出している。従って豚は不可欠の家畜であり、甘藷もまた不可欠の作物である。そのことは沖縄に於ても同様である。

台湾の牛は殆ど水牛であり、農耕の良き協力者である温順で扱い易い上飼養管理に手間がかからぬのでとても重宝である。しかし中南部の蔗作地帯に於ては黄牛の数も多く見られた。水牛は蹄が大きいので水田に向くし黄牛は蹄が小さいので甘藷畑に向くそうである。現在水牛、黄牛合せて42万頭程の頭数であるが将来北部を酪農地帯、東部と南部を肉牛地帯として大々的に頭数を殖す方針であると当局の係官は語っていた。

山羊の頭数は約14万頭で優良種も相当見受けられた。

(新垣真保)



苗栗県にある台糖公司種畜場にて